

## 6C 病棟紹介

呼吸器内科40床、糖尿病・内分泌内科8床の混合病棟です。

メンバーは呼吸器内科医師13名、糖尿病・内分泌内科医師13名、看護師29名、看護助手3名です。

呼吸器内科の主な疾患は、肺癌、肺炎、慢性閉塞性肺疾患です。肺癌の化学療法、放射線療法、人工呼吸器による呼吸器管理や酸素療法の治療が行われています。

呼吸器疾患の患者さんは高齢者が多く、治療と共に理学療法士らと共同してリハビリを行い、日常生活動作の改善を図っています。在宅医療へ移行する際には、在宅酸素療法などの指導を行なっています。

また肺癌等の終末期の患者さんには、身体的・精神的ケアはもちろん、患者さんを支える家族のケアも大切と考え、緩和ケアチームらとカンファレンスを行い、よりよいケアが提供できるように取り組んでいます。

糖尿病・内分泌内科は糖尿病患者さんの教育や血糖コントロール、内分泌の検査が主になります。

糖尿病教室は医師、看護師、薬剤師、栄養士、検査技師らでプログラムを組んでいます。また病棟でもDVDを観て頂き、血糖測定やインスリン注射などの指導を行っています。週1回、多職種でカンファレンスを行い患者さんの治療方針や指導の進み具合などの情報交換を行っています。病棟にも糖尿病療養指導士がおり、患者さんのケアに専門的に関わっています。



今年の新人看護師4名  
です。毎日頑張ってい  
ます。